

東北地方 1か月予報

(1月24日から2月23日までの天候見通し)

平成16年1月23日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

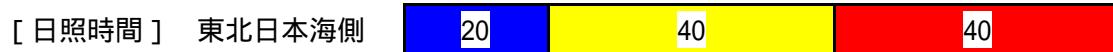
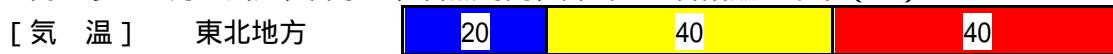
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置が続きますが、寒気の南下は一時的でしょう。平年に比べて東北日本海側では曇りや雪又は雨の日が少なく、東北太平洋側では晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側では平年並が多く、東北太平洋側では平年並か少ない、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

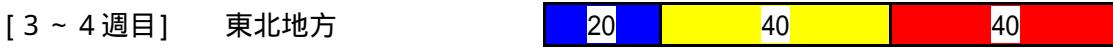
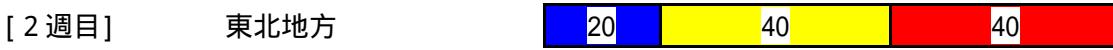
週別の気温は、1週目は平年並、2週目、3~4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 1月24日(土) ~ 2月23日(月)

1週目 : 1月24日(土) ~ 1月30日(金)

2週目 : 1月31日(土) ~ 2月6日(金)

3~4週目 : 2月7日(土) ~ 2月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は1月30日

3か月予報:2月25日(水) 14時00分

暖候期予報:2月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.6	55.4	156.6	31	0.1	0.2	0.8
新庄	-1.3	165.1	55.5		-1.7	-1.6	-1.0
若松	-0.7	75.0	100.5	132	-1.1	-1.1	-0.5
深浦	-0.6	84.3	46.5	81	-1.1	-1.0	-0.4
青森	-1.5	134.8	73.4	264	-2.0	-1.9	-1.3
むつ	-1.9	92.2	94.4		-2.2	-2.2	-1.7
八戸	-1.3	56.3	143.5	61	-1.8	-1.7	-1.1
秋田	-0.2	100.2	63.8	101	-0.7	-0.6	0.1
盛岡	-2.0	54.6	139.3	62	-2.6	-2.5	-1.7
宮古	-0.1	77.0	169.1	44	-0.4	-0.4	0.2
酒田	1.2	129.7	57.4	76	0.8	0.9	1.4
山形	-0.6	74.7	103.1	109	-1.0	-0.9	-0.3
仙台	1.4	46.1	165.8	31	0.9	1.0	1.7
石巻	0.5	41.7	180.3		0.0	0.1	0.9
福島	1.5	49.1	157.1	40	1.0	1.0	1.8
白河	0.1	36.5	170.1		-0.3	-0.3	0.4
小名浜	3.4	57.8	195.2	0	3.1	3.1	3.6

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.6	79~107	95~104	78~109
東北日本海側	-0.3~+0.6	89~106	90~110	81~113
東北太平洋側	-0.3~+0.7	67~109	99~102	71~111

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.9	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.6~+0.9	-0.6~+0.8	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.7~+1.0	-0.5~+0.9	-0.4~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年1月23日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月24日~2月23日) :

冬型の気圧配置が続きますが、寒気の南下は一時的でしょう。平年に比べて東北日本海側では曇りや雪又は雨の日が少なく、東北太平洋側では晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(1月24日~1月30日) :

冬型の気圧配置となる日が多く、特に期間の初めは強い寒気が流れ込むため東北日本海側を中心で荒れた天気となる見込みです。東北太平洋側の沿岸部では、期間の初めに雪の降る日もありますが、その他の日は概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並ででしょう。

2週目(1月31日~2月6日) :

冬型の気圧配置が続きますが、寒気の南下は一時的でしょう。平年に比べて東北日本海側では曇りや雪又は雨の日が少なく、東北太平洋側では晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(2月7日~2月20日) :

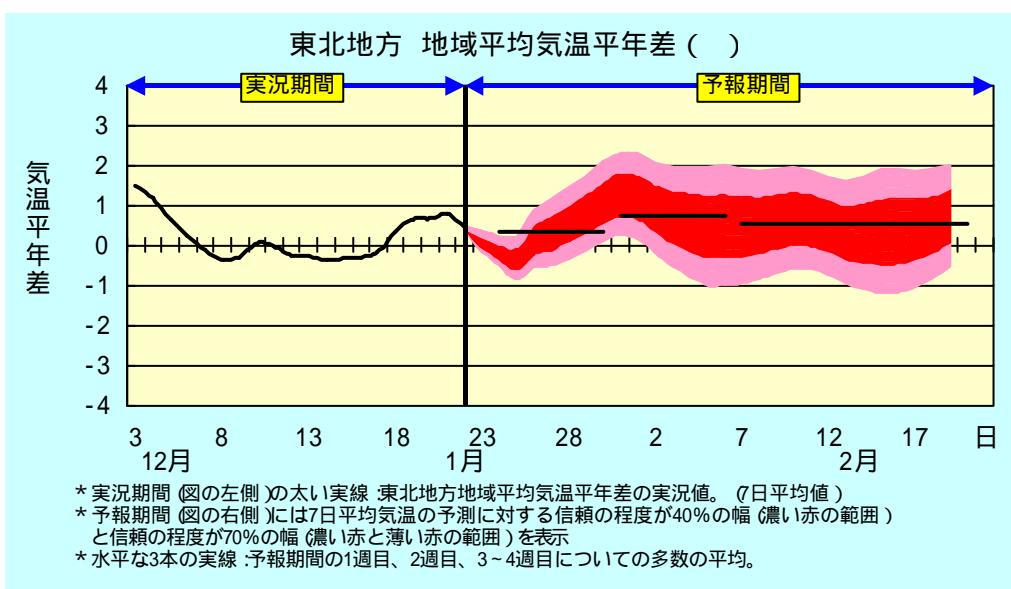
冬型の気圧配置が続きますが、寒気の南下は一時的でしょう。平年に比べて東北日本海側では曇りや雪又は雨の日が少なく、東北太平洋側では晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.7日	1.3日	1.3日	3.1日
東北太平洋側	18.4日	4.8日	4.6日	9.0日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測 数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から2週目、3~4週目を「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

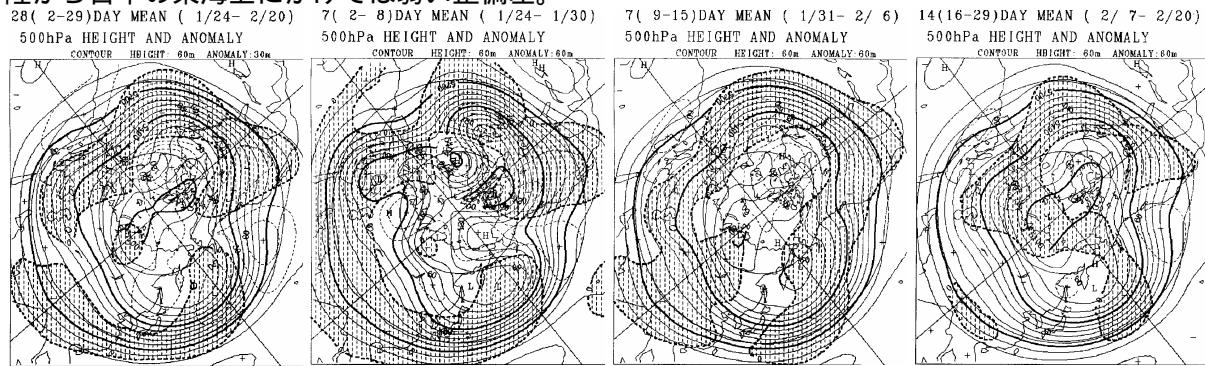


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が広く正偏差となり引き続き寒気放出場。日本の南岸から東海上は広く負偏差に覆われ、寒気が南下しやすい傾向。しかし、サハリンの正偏差が北日本を覆い、北日本への寒気の南下は一時的。

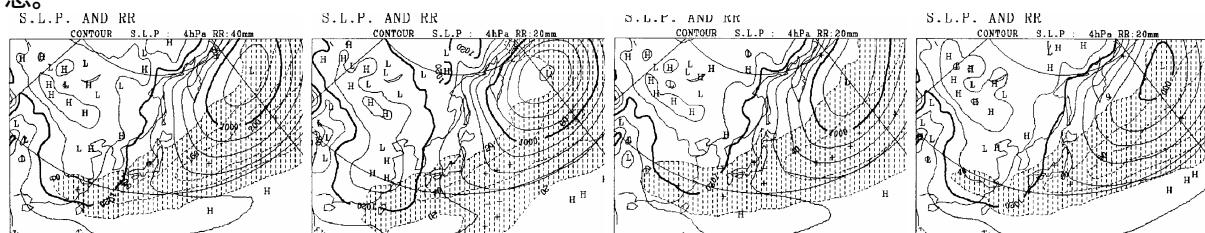
週別に見ると、1週目は寒冷低気圧がオホーツク海とベーリング海に予想される。本州以南は負偏差。2週目は日本付近は正偏差だが、東海上と大陸は広く負偏差に覆われる。3~4週目は極渦が極付近にまとまる傾向で、寒気放出場がやや弱まる。日本のはるか東海上は負偏差だが、大陸から日本の東海上にかけては弱い正偏差。



地上気圧と降水量：

月平均では、平年並の冬型の気圧配置。降水量は、日本の南海上と日本海側にかかる。

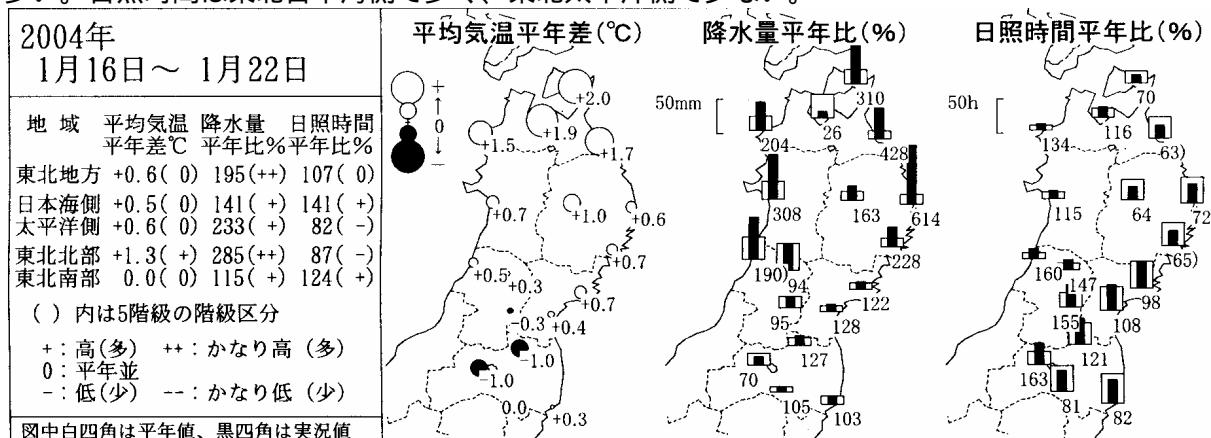
週別に見ると、1週目は冬型の気圧配置。東北南部以南に降水域が予想される。2週目は冬型だが、アリューシャンの低気圧がやや弱まる。3~4週目は月平均とほぼ同様で、平年並の冬型を予想。



4. 最近1週間（1月16日～1月22日）の天候の経過

16~18日は冬型が次第に弱まり、東北太平洋側では晴れ、東北日本海側でも晴れ間が出た。その後は次々と低気圧や前線が東北地方を通過したため曇りや雪又は雨となった。特に21日に低気圧と前線が通過した後は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、荒れた天気となって東北太平洋側でも雪となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部が多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)